

さっぽろ建設産業活性化プラン2025 数値指標

■プラン全体の評価指標		各指標			
		策定時	2025 (実績)	評価	2029 (目標)
■プランの評価指標（長期）					
全就業者数に対する建設就業者数の割合 ①全年齢 ②29歳以下の区分		①8.1% ②4.9%	— (国勢調査)	—	(~2040) ①8.0% ②8.0%
■プランの評価指標（短期）					
建設産業に対して魅力を感じる人の割合		3割	3割	➡	5割
↓（凡例）↓					
■目指す将来像に向けた方向性					
○個別評価指標		各指標			
・主な取組項目	内容	現状	2025	評価	2029
■方向性1：建設産業の魅力の発信					
○広報事業への参加者数		1.4万人/年	1.5万人/年	➡	2.0万人/年
・1-1-2【拡充】体験イベントの実施	イベント数	5回	6回	➡	10回
・1-1-3【新規】年代に応じた効果的なツールによる情報発信	HP閲覧数	HP開設	約8,000回	➡	延べ3万回
■方向性2：担い手の確保・育成の強化					
○建設業における29歳以下の就業者の割合		9.2%	— (国勢調査)	—	15.0%
○建設業における女性就業者の割合		16.3%	— (国勢調査)	—	25.0%
・2-1-2【拡充】インターンシップの受入拡大	助成制度を活用した人数	60人	63人	➡	120人
・2-2-3【継続】除雪オペレーターの育成支援	助成件数	40件	17件	➡	40件
■方向性3：さらなる働きやすい環境づくりの推進					
○労働状況に関する就業者の満足度（工事）		—	8割	➡	7割
○労働状況に関する就業者の満足度（業務）		—	8割	➡	7割
○札幌圏内の労働災害の発生件数		320件	267件	➡	計画期間を通し 前年以下
○設計労務単価に対する平均賃金の割合		72.7%	68.3%	➡	100%
・3-1-1【拡充】発注工事等における週休2日の確保 ・3-1-2【新規】週休2日の確保に対する市民理解の醸成	4週8休以上の 達成割合	89% ※再集計	92%	➡	100%
・3-2-1【継続】債務負担行為を活用した工事の早期発注	平準化率	0.83 ※再集計	参考R6 0.82	➡	0.8以上
・3-2-2【拡充】工事における余裕期間制度の適用	適用割合	20%	36%	➡	可能な工事 全て
・3-4-1【拡充】業務の履行期限の分散	第4四半期納期率	0.7	0.6	➡	0.50以下
・3-7-1【拡充】工事等における快適トイレなどの設置の拡大	快適トイレ試行 工事の発注割合	—	99%	➡	100%
・3-7-2【拡充】就業者の装備品購入に対する支援	助成件数	10件	40件	➡	30件
・3-9-3【新規】建設キャリアアップシステムの導入 (建設業振興基金データを基に延べ企業数で算出)	取組企業率	14.8% (企業アンケート)	参考R6.6 51.8%	➡	拡大
■方向性4：生産性向上に関する取組強化					
○市内建設企業におけるICT施工の経験割合		2割	3割	➡	4割
○市内建設企業におけるデジタル技術の活用割合		3割	3割	➡	5割
○発注工事における提出書類に関する改善の要望割合		9割	9割	➡	3割以下
○工事現場における作業効率 ※ICT施工による作業人工の変化		—	1.09倍	➡	1.2倍
・4-1-1【拡充】工事におけるICT活用の推進 ・4-1-2【新規】効果的なICT活用策の検討 ・4-1-3【新規】ICTの活用促進に向けた研修等の実施	ICT施工の実施率	6割	7割	➡	7割以上
・4-2-1【拡充】デジタル技術の活用(工事・業務) ・4-3-2【拡充】工事等における提出書類の電子化	デジタル技術活用 工事の発注割合	8割	8割	➡	10割
・4-3-1【拡充】提出書類の縮減に向けた検討 ・4-3-2【拡充】工事等における提出書類の電子化	工事における 電子納品の実施率	—	4割	➡	6割以上
■方向性5：企業経営の強化・安定化					
○市内建設企業の売上高営業利益率		2.7%	3.4%	➡	3.0%
・5-3-1【拡充】工事内容に応じた多様な入札契約制度の活用	総合評価落札方式の 発注割合	22%	25.9%	➡	25% ※2027時点
・5-3-2【拡充】若手や女性の活用や育成に取り組む企業を評価する入札方式の拡大	人材確保・育成型 発注割合	1%	2.8%	➡	5%
■方向性6：持続可能な社会への貢献					
○脱炭素に取り組む企業の割合		5割	約8割	➡	10割
・6-2-1【新規】ゼロカーボン推進に向けた取組 ・6-2-2【新規】企業における脱炭素の取組実施	工事におけるゼロ カーボンの取組割合	5割	約8割	➡	10割

令和8年度 市の取組予定

重点施策Ⅰ：担い手の確保・育成

Point

- ・若い世代に合わせた効果的な手法による建設産業の魅力発信【市、業界】
- ・他分野の学生が参加しやすいイベントやインターンシップの実施【市、業界】
- ・女性や外国人など多様な人材の採用に向けた環境整備【市、業界】

(1) 推進協議会ホームページの運営・更新

- ・推進協議会ホームページ「さっぽろけんせつガイド」についてリンク等を更新

①建設産業PR動画「あたらしい道、つくってみた」リンク追加

建設産業PRパンフレットPDFデータ掲載

②「令和7年度 建設業の魅力発信コンテスト(北海道開発局主催)」

の受賞作品を更新。

⇒サイト内ページ《建設業界で「はたらく」》にリンク

...『この島で生まれ、この島を守るために。』【最優秀賞】

...『変化に生きる建設業』【優秀賞】



『この島で生まれ、この島を守るために。』

変化に生きる建設業

世代別経営革新の技

『変化に生きる建設業』
開発局動画コンテストR7 優秀賞

(2) 各種現場見学ツアーの実施

名称	時期
夏休み親子土木施設見学ツアー	7月下旬～8月上旬予定
現場見学会（北海学園大学2年）	9～10月予定
現場見学会（北海道科学大学2年）	9～10月予定
現場見学会（札幌工業高校1年）	9～10月予定
土木施設めぐり女子ツアー	9～10月予定



現場見学会(北海道科学大学2年)

(3) 各種イベント等へのブース出展

名称	時期	場所	主な対象
JRAイベント「はたらくクルマ大集合」 (R7新規) (札幌市ブース)	6/20	札幌競馬場	小学生以下と保護者
環境広場2026 ※除雪事業	8/1・2	大和ハウス プレミストドーム	小学生と保護者
ジモトのシゴト ワク!WORK! (建設及び除雪ブース)	9/24・25	つどーむ	高校生
ミニさっぽろ2026 ※除雪事業	9月～10月	未定	小学生
さっぽろシゴト博 (R7新規) ※経済観光局主催 (建設及び除雪ブース)	10月下旬～ 11月上旬	パークホテル (予定)	中学生、一般
建設産業ふれあい展 (道庁と共催) (札幌市ブース)	1月上旬 ～中旬	地下歩行空間 (予定)	小学生と保護者

(4) 学校と連携したPRの実施

- ・札幌商工会議所が実施する中学生を対象とした建設産業の「体験授業」との連携（継続）
- ・小中学校を対象とした「雪と暮らすおはなし発表会」の実施（継続）
- ・小学校における「雪体験授業」の実施予定（継続）
- ・「都市局機械設備課出前授業」の実施（継続） 小学校3校予定

- (5) 各種メディアを活用したPRの実施
・札幌市広報番組を活用した建設業PR事業の紹介

(6) 普通科高校へのインターンシップ促進

- ・北海道教育庁・市教育委員会と連携し、市内の普通高校に建設業のインターンシップへの参加協力依頼。
- ・今年度は現在3校（札幌新川高校、札幌東豊高校、札幌厚別高校）と具体的な調整中。

(7) 女性や他分野からの入職希望者

- ・前回協議会で議題に挙げた「建設産業PRパンフレット」が完成。
ハローワーク及び建設産業PR等で活用中。



建設産業PRパンフレット 表紙

(8) 助成金制度の実施

- ・今年度は、7つのメニューの助成を実施

メニュー	助成額	実績（件）	
		R6	R7
①女性の作業服等の装備品購入に対する助成※1	1人あたり最大3万円	24	40
②企業のインターンシップ受入れに対する助成（R7拡充）	1日で4万円	—	6
	2日で7万円、3日以上で10万円	28	25
③大型特殊免許取得に係る費用の助成	1人あたり最大4万円	30	17
④サッポロQMS認証取得に係る助成	最大25万円	15	9
⑤ICT施工導入支援に係る助成	施工に50万円	16	16
	研修実施に3万円or6万円 研修参加に3万円 ※2	27	8
⑥免許・資格取得に係る助成（R7新設）※1	1人あたり最大5万円	—	21
⑦建設DXに係る助成（R7新設）	1企業あたり最大10万円	—	1
合計		134	143

※1：助成した人数をカウント。

※2：研修会等への参加は参加人数、社内研修等の開催は回数をカウント。

○建設DXに関わる助成事例 ※交付決定済含む

- ・「スパイダープラス」
…建設現場の施工管理を補助するサービス
- ・「体調管理ソリューション「GenVital LTE」」
…現場作業員向け体調管理システム（作業員装着リストバンド）
⇒現場の安全管理や生産性向上に資するような取組みが対象
 - ▶遠隔で現場確認が出来、現地確認頻度を減らせるクラウドカメラ
 - ▶AIを利用した施工計画書支援システム
 - ▶デジタル技術を活用して施工管理の負担を軽減できるシステム
 - ▶熱中症への対策となるウェアラブル端末
 - ▶調査時の作業負担を軽減または作業効率が向上する機器類



建設産業助成金PRチラシ

(9) 災害時の活躍に関する建設業のPR

- ・建設業が担っている役割の一つである「災害対応」について、市民向けPRの実施または広報資料を作成予定
- ⇒今後、各業界団体へ写真提供等の依頼をすることがありますので、ご協力をお願いいたします

(10) 技術者を対象とした表彰制度の導入

- ・建設局土木部では、工事や業務について、業界の技術レベルや意欲の向上、品質確保などを目的として、優秀な成果を収めた企業を毎年度表彰しているが、技術者の確保や育成は喫緊の課題となっていることから、令和8年度の工事や業務を対象に技術者に対する表彰制度を導入する予定。

重点施策Ⅱ：働きやすい労働環境の整備

Point

- ・週休2日の質の向上に向けた対応強化【市、業界】
- ・工事の施工時期及び業務の履行期限に関するさらなる平準化の推進【市、業界】
- ・書類作成の負担軽減に向けた取り組みの推進【市、業界】

(1) 週休2日工事の発注

- ・土木工事では当初から「月単位の週休2日」の経費補正、完全週休2日（土日）を達成した場合に、経費の増額補正。なお、通期の週休2日は補正の対象外のため補正係数を廃止。更に完全週休2日（土日）達成時の工事成績評価の加点を廃止。
 - ・営繕工事は当初経費補正無し。
- 達成時に「月単位の週休2日」または「完全週休2日（土日）」の経費補正を行う。

年 度	R 6実績	R 7実績	R 8 予定
①週休2日工事発注件数 (継続工事含む)	1,204件	1,242件	1,049件
②未竣工(継続工事等)を 除く取組表明件数	965件	989件	—
③(通期の)4週8休達成	948件	985件	—
割合(③/②)	98.2%	99.6%	—

(2) 工事の施工時期の平準化

- ・「早期発注（4～6月の稼働件数）」について、令和8年度は6割程度の発注予定
- ・余裕期間制度（フレックス方式）適用は、令和8年度は約5割程度の発注予定

年 度	R 6実績	R 7実績	R 8 予定
早期発注	553件 (53%)	574件 (55%)	623件 (61%)
余裕期間制度	283件 (27%)	375件 (36%)	484件 (48%)

* 当該年度の発注件数に対する割合

(3) 業務の履行期限の平準化

- ・「早期発注」に取組むほか、「年度を跨いだ履行期間を設定した業務発注」を実施予定

(4) 工事書類の作成に関する負担軽減

- ・土木工事では、提出書類縮減に向け不要な書類を明示した「工事書類スリム化のポイント」を令和7年3月に作成
- ・営繕工事においても、工事書類簡素化要領の見直しを行い、令和8年3月に「簡素化書類一覧表」の全面改定を行うとともに、簡素化に取り組む上での補足事項や具体的な取扱いに関する質問・回答をまとめた「Q & A」を新たに作成

重点施策Ⅲ：業界全体の生産性向上

Point

- ・ICTの活用拡大に向けた環境整備【市、業界】
- ・工事や業務における提出書類の電子化の推進【市、業界】
- ・作業の省力化・効率化等に資するデジタル技術の情報収集及び水平展開【市、業界】

(1) ICT活用工事の発注

- ・ICT活用工事の発注は、毎年拡大しており、令和8年度は122件発注予定

年 度	R 6実績	R 7実績	R 8 予定
ICT活用工事の発注件数	57件	89件	122件

※令和7年度新たに小規模工事（市街地施工）においても取組みやすい「First Step SAPPORO」型工事を発注し、ICT活用の最初の一步を応援 ⇒令和8年度も取組を継続

◆令和8年度工事における変更点

- ①歩道バリアフリー工事への適用
 - ・起工測量&縁石の丁張設置に自動追尾型TSを活用
- ②切削オーバーレイ工事におけるAR技術の活用
 - ・切削厚の路面表示に自動追尾型TSやAR技術を活用
- ③成績加点（3D設計データ作成の内製化確認時）

切削オーバーレイ工事へのAR活用イメージ

切削厚さ表示
(従来・AR未使用)切削厚さ表示
(AR使用時)

(2) ICT研修の実施

- ・受注者に向け「ICT研修」を今年度も継続して実施
(4月にFirstStepSAPPORO型マスター研修を実施、発注者向けICT研修も継続して実施)

(3) ICTに関する情報発信

- ・ICT施工に関するホームページや相談窓口、ICTアドバイザー制度（開発局）を継続

(4) 電子納品の標準化（R8年度）

- ・建設局土木部所管工事において原則5000万円以上の工事について電子納品の標準化
- ・下水道局所管工事において原則1億円以上の工事について電子納品の標準化
- ・水道局所管工事において土木A1の原則1億円以上の工事について電子納品の標準化

(5) ICTを活用した作業等の効率化

- ・工事における「遠隔臨場」について、発注者指定型及び受注者希望型を合わせて活用を継続
- ・工事における「ASP（情報共有システム）」について、受注者からの提案に応じて活用を実施しており土木・営繕共に実施件数は増加している。
※都市局建築部発注工事においては原則、令和8年度の全ての工事について発注者指定型としている

(6) AI活用試行工事

- ・建設現場では技術者不足が深刻化しており、長時間労働の解消が課題となっている。AI技術の活用を通じ、施工の効率化、品質及び安全性の向上を図ることを目的とする。

【適用対象】

- ・工事現場内で行う取組（工場製作のみの工事の場合は、工場の取組も対象）とする
- ・施工関係、品質関係、安全衛生関係に該当する次のいずれかの取組み。
 - ①出来形管理や品質管理、施工方法等において業務の効率化を図る取組み。
 - ②土工やコンクリート打設（仕上げ工事や設備工事の施工精度）等において、工事目的物の品質を向上させる取組み。
 - ③施工中の安全性を向上させる取組みや熱中症対策等、作業員の健康管理に関する取組み。
- ・発注者が費用を計上していない取組み。
- ・工事現場として実施が確認できる取組み。
- ・工事目的物の性能や耐久性等に影響しない取組み。

各団体への照会内容項目 一覧

■担い手の確保・育成

【報告1】ホームページ、SNSの活用等による情報発信体制の充実

【報告2】インターンシップまたは体験イベントへの出展等の実施

【報告3】多様な人材（女性、他業種、外国人、普通科高校等の学生）への取組

■働きやすい労働環境の整備

【報告4】週休2日やワーク・ライフ・バランスの推進等、就業環境の整備への取組

【報告5】分業体制の構築の検討、および人材育成への取組

■業界全体の生産性向上

【報告6】生産性向上（効率化・省力化）に向けた取組

【報告7】新技術活用に関する取組や情報収集

【報告1】ホームページ、SNSの活用等による情報発信体制の充実

照会内容	貴団体及び会員企業における「ホームページやSNSの活用等による情報発信」に関する取組を教えてください。 例1：制作したPR動画をYouTube等に掲載し情報発信 例2：ホームページを最新の情報に更新し、定期的に内容のリニューアルを検討 例3：団体ホームページに会員企業ホームページへのリンクを掲載
------	---

№	団体名	令和8年度取組予定
1	(一社)札幌建設業協会	・制作したPRマンガ、YouTubeに掲載したPR動画等を活用した情報発信 ・ホームページのトップ画面に各会員企業のホームページと採用情報へ移行できるメニューを掲載
2	札幌市土木事業協会	・従来はPC専用のホームページであったが、今年からスマホ専用画面の追加を検討している～継続(会員企業) ・工事の掲示板にQRコードを埋め込みPRにあたる予定～継続(会員企業) ・YouTubeで人材募集等の広告を行っている～継続(会員企業)
3	(一社)札幌中小建設業協会	・ホームページを活用し、学生向けの記事内容の発信に配慮しながら、情報発信体制の充実に取組む予定(団体、会員企業) ・協会ホームページを最新の情報に更新し、協会の活動内容等を紹介(団体) ・協会ホームページの会員名簿から会員企業ホームページにリンクして紹介(団体、会員企業)
4	(一社)北海道舗装事業協会	・新たなPR動画の制作とオウンドメディア「MICHI-FAN GUIDE」やInstagramを通じた情報発信
5	札幌舗会	・各会員企業において判断し、実施している
6	札幌市除雪事業協会	・ホームページを最新の情報に更新し、定期的に内容のリニューアルを検討 ・団体ホームページに会員企業ホームページへのリンクを掲載 ・団体ホームページに札幌市関係部署（雪対策室・道路維持）ホームページへのリンクを掲載
7	札幌塗装工業協同組合	・若年者向けに求人情報を組合HPに載せて情報発信を実施(団体) ・既成の塗装PR誌と各組合員の求人を含めた組合求人誌を作成(団体及び会員企業)
8	(一社)北海道造園緑化建設業協会 札幌支部	・HPによる協会や各会員の事業紹介(団体) ・毎月1回、協会の活動等をまとめた北海道造園緑化協会ニュースを引き続きHPに掲載(団体) ・年2回発行される広報誌みどりを引き続きHPにも掲載(団体)
9	(一社)札幌電設業協会	・ホームページを最新の情報に更新 ・内容のリニューアルを検討 ・自社制作のPR動画を発信 ・採用ナビサイトやイベント参加時において、PR動画を積極的に掲載しアピール ・ポリテクセンター北海道への登録による人材情報の収集 ・外部団体主催イベントへの積極的な参加（企業紹介や業界紹介、取得した認定制度の事例紹介要請への対応など） ・毎年、新入社員が主体となり、SNS（Instagram等）を活用して社内の様子や活動内容を発信している。新入社員採用に向けた広報活動の一環として活用。
10	(一社)札幌空調衛生工事業協会	・ホームページの記載内容を最新の情報にするため適時更新する ・業界PR用のウェブページを作成し、ホームページに入口となるバナーを設置する。
11	札幌市管工事業協同組合	・定期的（月2回）にホームページを更新して、最新情報を発信（団体）。 ・制作したPR動画をホームページに掲載、令和8年11月～2月の期間でYouTubeにて広告配信予定（団体）。 ・団体ホームページに会員企業ホームページへのリンクを掲載。
12	札幌管和会	・各会員企業にお任せしています。
13	札幌環境維持管理協会	・令和2年度に開設したホームページを活用して会員内外に情報を発信（団体）
14	札幌建具工業協同組合	・2017年にホームページを開設し、当組合の組織、各種事業（組合員）の社会貢献事業等の最新情報を発信しております。 ・組合員のホームページ上のブログを不定期ではありますが、情報を掲載しております。
15	(一社)建設コンサルタンツ協会 北海道支部	・ホームページを活用して、会員内外に情報を発信（継続） ・協会本部で制作したリクルートPR動画（ショート動画）をYouTube等に掲載し情報発信
16	札幌市設計同友会	・ホームページ等にて情報発信（会員企業）
17	札幌市測友会	・ホームページを随時更新し、札幌市や他団体の情報を随時提供する。
18	(一社)北海道設備設計事務所協会	・会員のHP開設を推進（団体） ・会員内外に講習会、イベント等の情報発信（団体）
19	(一社)北海道建築士事務所協会 札幌支部	－

【報告2】インターンシップまたは体験イベントへの出展等の実施

照会内容	貴団体及び会員企業における「工業系学生等を中心とした入職促進」に関する取組を教えてください。 例1：インターンシップや現場見学の受入れ（工業系高校等に対して） 例2：職業体験や出前講座の実施（工業系高校等に対して） 例3：〇〇ツアーや〇〇イベントへの出展
------	--

№	団体名	令和8年度取組予定
1	(一社)札幌建設業協会	・北海道札幌工業高校の土木科・建築科（2年生）及び保護者を対象とした現場見学会を開催 ・北海学園大、北海道科学大を対象とした現場見学会を札幌市と共催 ・北海道札幌工業高校のインターンシップについて会員企業との仲介
2	札幌市土木事業協会	・若手だけで取組むイベントに助成を予定～継続（会員企業） ・毎年、札幌工業高校よりインターンシップを受け入れており本年度も継続する～継続（会員企業）
3	(一社)札幌中小建設業協会	・入職促進（インターンシップや見学受入れ）に取組む予定（会員企業） ・施工管理の魅力について大学にて出前講座を実施（会員企業）
4	(一社)北海道舗装事業協会	・インターンシップ受入れ調整、イベントへの出展検討
5	札幌舗会	・各会員企業において判断し、実施している
6	札幌市除雪事業協会	・ジモトのシゴト ワク！WORK！の出展 ・環境広場さっぽろへの出展
7	札幌塗装工業協同組合	・札幌商工会議所の企画による道内高校との連携強化事業に参加（団体及び会員企業） ①オープンカンパニー ②出張型企業説明会 ・札幌商工会議所主催の「出張お仕事体験会」で中学生を対象に塗装体験 ・「ジモトのシゴト ワク！WORK！」に出展
8	(一社)北海道造園緑化建設業協会 札幌支部	・夏場に市内の大学への出前講座と現場見学会を開催予定（団体） ・札幌商工会議所が主催する「出張お仕事体験会」に、参加を検討（団体）
9	(一社)札幌電設業協会	・インターンシップの受け入れ及び拡大 ・理系・文系学生にターゲットを分けて、複数回お仕事体験を実施。月1回以上のオープンカンパニー（企業説明会）を開催各種職場見学会の実施。 ・インターンシップ、現場見学、工業系高等学校への建設業界（電気）の説明を実施。インターンシップ、企業訪問、現場見学会の拡大。 ・現場見学や自社研修施設における模擬体験の継続実施と頻度アップ。Web上での施工管理業務疑似体験プログラムの実施。インターンシップ対象を高校向けに拡大。 ・体験イベントの実施 ・社内行事（技能・技術競技会）への工業系学生の招待。当社研修施設の体験見学の受入。 ・ポリテクセンターなどの支援機構からの就業体験要請の受け入れ。
10	(一社)札幌空調衛生工事業協会	・「ジモトのシゴト ワク！WORK！」へ札幌市管工事業協同組合と合同で出展し、配管の組立体験、3D CAD操作体験をしてもらい業界の認識を深めてもらう ・札幌商工会議所主催の「出張お仕事体験会」で中学生を対象に札幌市管工事業協同組合と合同で出展し、配管の組立体験をしてもらい業界の認識を深めてもらう ・札幌市経済観光局産業振興部主催「さっぽろシゴト博」へ札幌市管工事業協同組合と合同で出展予定（団体）
11	札幌市管工事業協同組合	・さっぽろ建設産業活性化推進協議会で実施「令和8年度 建設業の1日インターンシップ」の受入れ企業として、職種「管工事」5社、職種「設備工事」14社が登録（会員企業） ・北海道札幌琴似工業高等学校 電子機械科1年生及び2年生のインターンシップ（事前講義、札幌市水道局「藻岩浄水場」施設見学、配管実習及び就業体験）を実施予定（団体及び会員企業）。 ・札幌商工会議所からの依頼で「ジモトのシゴト ワク！WORK！」へ札幌商工会議所、（一社）札幌空調衛生工事業協会及び関係団体と合同で出展予定（団体）。 ・札幌商工会議所からの依頼で「出張お仕事体験会」へ（一社）札幌空調衛生工事業協会と合同で出展予定（団体）。 ・ミニさっぽろ2026実行委員会（構成団体：札幌市等）主催「こどものまち『ミニさっぽろ2026』」へ出展予定（団体）。 ・札幌市経済観光局産業振興部主催「さっぽろシゴト博」へ（一社）札幌空調衛生工事業協会と合同で出展予定（団体）
12	札幌管和会	・別の組合等で実施しています。
13	札幌環境維持管理協会	・インターンシップの受入れ（会員企業）
14	札幌建具工業協同組合	・さっぽろ建設産業活性化推進協議会が推進するインターンシップへの参加。 ・就労支援施設からの工場見学の要望への受け入れ。 ・札幌地方職業能力開発協会が主催する技能フェスティバルの「モノづくり体験」で札幌技能士会と参加支援しております。
15	(一社)建設コンサルタンツ協会 北海道支部	・大学への業界説明・PR講義開催（継続） ・ポスターカレンダーを製作し、各大学・高専へ配布（継続） ・札幌市主催1日インターンシップへの参画（継続）
16	札幌市設計同友会	・インターンシップの受け入れ（会員企業） ・求人媒体との連携（会員企業） ・企業説明会への参加（会員企業）
17	札幌市測友会	・「建設産業ふれあい展」「ジモトのシゴト ワク！WORK！」「出張お仕事体験」等に参加する。
18	(一社)北海道設備設計事務所協会	—
19	(一社)北海道建築士事務所協会 札幌支部	—

【報告3】多様な人材（女性、他業種、外国人、普通科高校等の学生）への取組

照会内容	貴団体や会員企業における「多様な人材（女性、他業種、外国人、普通科高校等の学生）」に関する取組を教えてください。 例1：女性技術者合同座談会の開催 例2：他業種または外国人材の採用・求人活動 例3：職業体験や出前講座、インターンシップの実施（普通科高校等に対して）
------	---

No	団体名	令和8年度取組予定
1	(一社)札幌建設業協会	・建青会の「まち仕事フェスタ（主に小学生親子）」を共催 ・「建設産業ふれあい展」にブースを出展設置 ・札幌「建設産業体験会（中学2年生対象）」に会員企業8社が参加
2	札幌市土木事業協会	・求人採用範囲を未経験者からとして広げて、多様な人材（女性など）の採用を促進する予定。 （会員企業）
3	(一社)札幌中小建設業協会	・女性技術者の「どさん娘の会」所属を継続する予定(会員企業)
4	(一社)北海道舗装事業協会	・オウンドメディア「MICHI-FAN GUIDE」を通じた情報発信
5	札幌舗会	・各会員企業において判断し、実施している
6	札幌市除雪事業協会	—
7	札幌塗装工業協同組合	・札幌商工会議所の企画による道内高校との連携強化事業に参加（団体及び会員企業） ①オープンカンパニー ②出張型企業説明会 ・ハローワークと連携した集団求人
8	(一社)北海道造園緑化建設業協会 札幌支部	・当協会の会員企業に所属する女性職員により「緑麗会」という組織をつくっているが、当会が札幌市の大通花壇造成事業に参加した状況を、ホームページにより紹介する。（団体）
9	(一社)札幌電設業協会	・他業種からの人材確保のため、転職イベントなどに積極的に参加など。 ・外国人特定技能人材採用強化のため現地（ベトナム）面接・送り出し機関見学を実施、採用予定者数：5・6名。数年ぶりに高校（工業系・普通科）訪問を実施。 ・普通科高校に対する求人活動、求人範囲拡大、アプローチ強化など。 ・女性技術職の採用（次世代法、改正育児介護休業法に基づく「仕事と家庭の両立支援」に向けた雇用環境の整備）。普通科高校へのアプローチ強化。 ・女性応募者獲得の為、PRを強化。（ロールモデル、キャリアパスの紹介、えるぼし認定の取得の発信）
10	(一社)札幌空調衛生工事業協会	・当協会の広報誌「KIRAMEKI」へ会員企業の女性職員に日常業務内容、職場環境や業界に対する女性の視点などを投稿してもらい、女性が活躍できる業界であることを紹介する記事を掲載する
11	札幌市管工事業協同組合	・さっぽろ建設産業活性化推進協議会で実施「令和8年度 建設業の1日インターンシップ」の受入れ企業として、職種「管工事」5社、職種「設備工事」14社が登録（会員企業）
12	札幌管和会	・各会員企業にお任せしています。
13	札幌環境維持管理協会	・インターンシップの受入れ実施（会員企業）
14	札幌建具工業協同組合	・高等支援学校の体験実習の受け入れ。（年2回実施）
15	(一社)建設コンサルタンツ協会 北海道支部	・札幌市主催1日インターンシップへの参画（継続）
16	札幌市設計同友会	・普通科高校をターゲットとしたインターンシップの受け入れ表明（会員企業）
17	札幌市測友会	・普通科高校の学生に対しインターンシップの受け入れ表明（会員企業）
18	(一社)北海道設備設計事務所協会	—
19	(一社)北海道建築士事務所協会 札幌支部	・普通科高校の学生に対し、これまで同様、職業体験等（建築設計等）のインターンシップを実施 ・札幌商工会議所主催の小学生・中学生を対象とした設計等のお仕事体験との連携

【報告4】週休2日やワーク・ライフ・バランスの推進等、就業環境の整備への取組

照会内容	貴団体や会員企業における「就業環境の整備」に関する取組を教えてください。 例1：週休2日の確保や適正な休暇の取得に向けた取組 例2：育児休業や育児休業の取得を推進 例3：建設キャリアアップシステムの導入
------	--

№	団体名	令和8年度取組予定
1	(一社)札幌建設業協会	・CSRとコンプライアンスに関するセミナーを開催 ・「行動宣言2016実践集」の作成 ・建設キャリアアップシステムの導入促進
2	札幌市土木事業協会	・週休2日制を今年度より規定とする。また下請会社にも協力をお願いし、経費の上乗せを行う予定～継続 ・原則、週休2日制を実施しているが、冬期間の除排雪時には確保が難しいため、代替休暇を取らせている。残業時間は0時間を目標に取り組んでおり、そのための増員を進めている～継続 ・就業時間、代替休暇取得を携帯アプリやサーバーで管理し管理者に情報を共有して就業状況を把握～継続 ・有給休暇を積極的に取るように、会社からの指示を現場担当者に行い、そのための増員を会社として積極的に人員募集に努めている～継続(会員企業)
3	(一社)札幌中小建設業協会	・時間外労働の上限規制に努めるため、月30時間の見込み残業制度に取組む予定(会員企業) ・都市型土木の性質上、現場事務所の設置が困難な場合があるが、時間外労働の短縮に向けて、車両型事務所を購入し帰社後の机上残業の短縮に努める予定(会員企業) ・通年雇用月給制に移行し、週休2日に対応できる労働環境を確保する予定(会員企業)
4	(一社)北海道舗装事業協会	・アスファルト合材プラントにおける土曜閉所の取組
5	札幌会	・各会員企業において判断し、実施している
6	札幌市除雪事業協会	—
7	札幌塗装工業協同組合	・働き方改革支援センターをはじめ、関係各所からの情報提供、働き方改革に向けた会員企業を対象とした相談の実施
8	(一社)北海道造園緑化建設業協会 札幌支部	・ノー残業デーの実施(会員企業) ・有給休暇の取得促進(会員企業)
9	(一社)札幌電設業協会	・週休2日制度導入に向けて試験運用を始めている。 ・建設キャリアアップシステムの導入準備を始めている。 ・社員のメンタルヘルスケア研修を実施。 ・育児・介護休業については厚労省ガイドラインに基づいた社内規定整備済 ・北海道が実施する“ナチュラル・ビズ・スタイル”を踏襲し、快適で機能性のある服装での就業を推奨する ・勤怠管理システムの自動通知機能を活用した上限規制超過予告や有給取得促進など ・有給休暇の取得促進に向けた「全社目標(年12日以上休暇取得)の設定」と「休暇取得促進日・促進月間の取組み」の実施。育児休業等の取得促進。 ・DX推進による工事管理及び作業等の効率化 ・社内の福利厚生拡充による、休暇取得の啓発(提携施設の利用斡旋など) ・建設キャリアアップシステムの導入 ・週休2日確保および適正な休暇取得(代休含む)に向け、毎月の部内会議で各個人の「有給取得日数・時間外勤務時間」を共有。 ・ワークバランスの確保
10	(一社)札幌空調衛生工事業協会	・官公庁の発注機関との意見交換会を開催し、担い手確保・育成のための環境整備を要望する
11	札幌市管工事業協同組合	—
12	札幌管和会	・各会員企業にお任せしています。
13	札幌環境維持管理協会	・働き方改革についてのセミナーの実施(団体) ・週休2日の確保及び時間外労働の削減など働き方の取り組み(会員企業)
14	札幌建具工業協同組合	・完全週休2日を実現するために、パートナー企業との連携
15	(一社)建設コンサルタンツ協会 北海道支部	・業界一斉「毎週水曜日をノー残業デー」の実施(継続)
16	札幌市設計同友会	・有給休暇の取得推進(会員企業) ・育児休業の取得推進(会員企業) ・介護や育児と仕事の両立支援(会員企業)
17	札幌市測友会	—
18	(一社)北海道設備設計事務所協会	・各会員において取り組んでいる企業が増えている。
19	(一社)北海道建築士事務所協会 札幌支部	—

【報告5】分業体制の構築の検討、および人材育成への取組

照会内容	貴団体や会員企業における「分業体制の構築の検討および人材育成」に関する取組を教えてください。 例1：建設ディレクターまたは類する役職等の設置による分業体制の導入または検討 例2：資格取得支援 例3：研修会の実施
------	--

№	団体名	令和8年度取組予定
1	(一社)札幌建設業協会	・新入社員合同研修会の開催 ・助成金を活用した高校生への資格取得支援
2	札幌市土木事業協会	・長期、短期の柔軟なインターンシップ受け入れを実施する。また、YouTubeチャンネルでの仮想就業体験を計画している。～継続(会員企業) ・土木、機械等の資格については会社負担にて講習受講。ただし、教育訓練給付金対象のみ。～継続
3	(一社)札幌中小建設業協会	・会員企業を対象に「現場技術者研修会」「安全管理現場研修」などを実施予定(協会)
4	(一社)北海道舗装事業協会	・若手技術者の技術力向上のため舗装基礎技術研修の実施
5	札幌舗会	・各会員企業において判断し、実施している
6	札幌市除雪事業協会	・若手や初心者オペレータ育成・技術伝承のための実技研修
7	札幌塗装工業協同組合	・会員企業は新卒入職者（高校）並びに転職者を組合が運営する塗装技術学院（職業訓練校）に入校させ学ばせる。（団体及び会員企業） ・会員企業は組合並びに各種団体で実施する各種技能講習会に参加させる。（団体及び会員企業）
8	(一社)北海道造園緑化建設業協会 札幌支部	・4月中旬に、会員の若手・新入社員を集めて3日間にわたる研修会を開催した（団体） 【主な研修内容】 ・建設業社員としての心構え ・建設現場における基本、仕事の流れ、基本技術 ・若手技術者に求められる基本動作 ・施工管理の基本、現場の安全 ・9月上旬に、庭園樹剪定技術講習会を開催し、剪定技術の習得と庭園管理技能の向上を図る（団体） ・自ら研修内容を企画し、視野の拡大と意識改革を図ることを目的に「自主企画国内派遣研修」の制度を運用しているが、参加者を募集する（団体） ・日本造園建設業協会が主催する資格制度（街路樹剪定士、植栽基盤診断士）や北造協が主催する植生施工管理技士を利用して、企業内の資格者増に努める（会員企業） ・造園技術講演会、植生技術講演会を開催し、技術の研鑽に努める。
9	(一社)札幌電設業協会	・若手技術者の資格取得支援に向けた研修。バックオフィスとの連携で業務分業体制の構築を検討。 ・資格手当の拡充、講習会参加費会社負担。ハラスメント外部講習の実施。女性就業者の資格支援の確保及び現場作業場の環境整備。 ・資格取得の支援。 ・研修会への参加。 ・研修会の実施。 ・力の差はあるので工具の軽量化は検討しております（女性社員対応）。書類作成のマニュアル化。 ・建設ディレクターの設置、増員 ・施工管理業務サービスのグリーンサイトやビルディーを利用して本社事務方で各種入力・更新業務を行う ・階層別に合わせたスキル習得の研修10コースのほか、年代別研修の実施。女性社員の若手・中堅のキャリアアップ及び経営幹部養成セミナーへの参加。資格取得に向けた講習会及び添削指導、通信教育講座受講支援、資格取得奨励金支給の実施。 ・建設ディレクターまたは類する職位の人材確保。主に女性や軽度障害者などを起用。普通高校出身者や異業種転職者などへの育成・資格取得、技能承継などの環境の構築。 ・役職者による分業体制の検討。 ・毎月の部内会議にて、各個人の保有資格一覧を共有。新入社員資格取得計画を共有し、受講しやすいよう日程を調整。 ・建設ディレクターを職種として正式に設置、クラウド型HRシステム「カオナビ」の導入し、実績の正確な記録、スキルマッピングおよびキャリアプランニング、人事評価基準および報酬体系の明確化に取り組む ・産廃manifestの集計や一部安全書類の整備を本社事務方にて行う ・新規・中途入職者等の育成・技術承継のための定例会議、施工前検討会の確保
10	(一社)札幌空調衛生工事業協会	・技術系新入社員研修会を開催し人材育成に取組む ・技術系ステップアップ研修会（入社後2～4年の職員対象）を開催し、技術承継に取組む ・施工管理技士の受験講習会を開催し、若手の資格取得促進に取組む
11	札幌市管工事業協同組合	・管工事業界の将来を担う人材育成を目的とした「次代へつなぐプロジェクト」を始動。令和8年度は「従業員初心者講習会」、「雇用確保に関する講習会」を実施予定。 ・管工事業界で必要となる各種資格試験（給水装置工事主任技術者試験、1・2級管工事施工管理技術検定試験、1・2級土木施工管理技術試験）に合格した、会員企業の従業員へ資格試験受験料の助成を実施。 ・給水装置工事主任技術者試験の勉強会、直前講習会を実施予定。
12	札幌管和会	・資格取得に関する助成金などの周知をしています。
13	札幌環境維持管理協会	・資格取得の奨励、支援
14	札幌建具工業協同組合	・技能士をはじめ、建築施工管理技士、その他の資格取得の推進。
15	(一社)建設コンサルタント協会 北海道支部	・若手技術者を対象としたミス防止に関する講習会の実施（継続）
16	札幌市設計同友会	・資格取得支援（会員企業） ・熟練技術者主導の実践的勉強会による技術伝承（会員企業）
17	札幌市測友会	・契約時における電算化の促進について、札幌市と意見交換を実施する予定。
18	(一社)北海道設備設計事務所協会	・建築設備士の資格取得に支援（予想問題集の配布など）
19	(一社)北海道建築士事務所協会 札幌支部	・会員事務所の職員に対し、資格取得支援として1級建築士試験勉強会を実施

【報告6】生産性向上（効率化・省力化）に向けた取組

照会内容	貴団体や会員企業における「生産性向上（効率化・省力化）」に向けた取組を教えてください。 例1：工事におけるICT施工やASP、電子納品等の実施 例2：業務における〇〇技術の活用
------	--

No	団体名	令和8年度取組予定
1	(一社)札幌建設業協会	—
2	札幌市土木事業協会	・工事におけるICT施工やASP、電子納品等の実施を積極的に検討し、受注工事に対応して行く。(会員企業)
3	(一社)札幌中小建設業協会	・生活道路整備工事等でICT施工を導入する予定(会員企業) ・協会ホームページからASP利用申込みフォームにリンクして活用を促進(協会及び会員企業)
4	(一社)北海道舗装事業協会	・各種講習会等の会員への情報発信
5	札幌舗会	・各会員企業において判断し、実施している
6	札幌市除雪事業協会	—
7	札幌塗装工業協同組合	・現場検査に対するデジタル技術導入の検討
8	(一社)北海道造園緑化建設業協会 札幌支部	・ICTを活用した生産性向上に関する研修について検討を行う。(団体)
9	(一社)札幌電設業協会	・デジタルツールは活用しているが、さらに効率よく運用できるよう必要に応じて外部指導者による研修を実施予定 ・社内基幹システム更新による業務効率化(原価計算、出来高管理)。その他社内システム導入による業務効率化(経費精算、請求書・領収書発行)。 ・クラウドシステム導入による業務の効率化の実施。 ・CADソフトの研修。現場管理ソフトの導入と研修。各種計測機器のデジタル化を行い、帳票作成を簡素化。 ・建設業特化AIサービスに加入。 ・生成AIサービスの導入・試験運用。 ・工事におけるICT活用の促進。 ・施工管理ツール「アンドパッド」の導入。クラウドストレージ「Dropbox」の運用拡大。工事書類の標準化。 ・年度末の設備投資等で充電工具・PC・タブレット等の整備。 ・工事におけるASP、電子納品の実施。業務では、クラウドの経理ソフトを導入し業務の効率化。 ・現在使用しているCADソフトを使用する社員のスキルアップを目指し提供メーカーから直接指導を受ける機会を設ける。 ・元請現場におけるASP、電子納品の拡充。DXの推進とバックオフィス化による現場作業の省力化、効率化。 ・施工管理システム導入による効率化。 ・月報や社内申請書類のクラウド化の改善、車両管理やアルコールチェックのクラウド化の導入。 ・デジタル技術の積極的導入(助成・支援制度の活用)。既成業務システムの導入による、業務スキームの効率化。 ・生成AI系システムの業務への活用法の探求。 ・各課の連携強化を実施予定。 ・施工管理アプリ(ANDPAD)を活用中 ・図面をiPadで使用(拡大縮小表示、各種の図面をコンパクトに持ち運び、変更部の記録、情報共有等)。 ・キントーンで、ケーブルリストに入力した情報を用いて、ケーブル札が作成できるように改善。
10	(一社)札幌空調衛生工事事業協会	—
11	札幌市管工事業協同組合	—
12	札幌管和会	・各会員企業にお任せしています。
13	札幌環境維持管理協会	・点検調査・保守業務の機器及び施工方法への新技術導入促進
14	札幌建具工業協同組合	・人材不足の対応のため、機械導入計画及び札幌市工事書類スリム化のポイントに則り、業務作業の減少を目指す。
15	(一社)建設コンサルタンツ協会 北海道支部	・支部内に「BIM/CIM検討WG」を設置し、BIM/CIMの活用、課題について議論(継続) ・ICTに関する講習会を会員向けに実施(継続)
16	札幌市設計同友会	・Teams等コミュニケーションツールを活用した部門間等の情報共有の迅速化(会員企業) ・社内講習による基本ソフトウェアスキルの向上(会員企業) ・eラーニングによる研修(会員企業)
17	札幌市測友会	・ICT活用を促進し、自動追尾TSを用いた測量作業の研修を検討。
18	(一社)北海道設備設計事務所協会	—
19	(一社)北海道建築士事務所協会 札幌支部	—

【報告7】新技術活用に関する取組や情報収集

照会内容	貴団体や会員企業における「新技術活用に関する取組や情報収集」を教えてください。 例1：新技術に関するイベント（〇〇）への出席・参加 例2：大学などの研究機関等と共同した新技術の検討・開発
------	---

No	団体名	令和8年度取組予定
1	(一社)札幌建設業協会	・現場代理人研修会（WEB）の開催
2	札幌市土木事業協会	・外部教育機関を活用して新技術に関する交流を図る。(会員企業)
3	(一社)札幌中小建設業協会	・大学との共同研究による、AI等を活用した新技術の開発（会員企業）
4	(一社)北海道舗装事業協会	・舗装研究助成を通じた技術開発、調査研究
5	札幌舗会	・各会員企業において判断し、実施している
6	札幌市除雪事業協会	－
7	札幌塗装工業協同組合	・関係団体の技術委員会への参加等による情報収集
8	(一社)北海道造園緑化建設業協会 札幌支部	－
9	(一社)札幌電設業協会	・電気設備学会などの各種学会主催の講演会参加および社内での情報共有 ・各種工業展などへの参加 ・各メディア・関係機関から情報収集を継続し、必要に応じて新技術の導入・活用を検討 ・生産性向上に資する技術の検討 ・各種AIアプリの活用に向けた検証を進める。 ・EXPOや各種展示会等の参加による情報収集。メーカーとの共同開発による新技術、新工法の検討、開発、特許出願。 ・各電材卸商社が主催する展示会イベントへの参加。 ・安全性向上の新技術の活用を検討。 ・生成AIを活用した、情報収集、指導・教育マニュアル作成などの新スキームの構築。 ・新技術に関するイベント（AI関係）への出席・参加。 ・外注・仕入先からの情報を収集し検討、実施予定。
10	(一社)札幌空調衛生工事業協会	－
11	札幌市管工事業協同組合	－
12	札幌管和会	・情報があれば各会員企業に情報提供します。
13	札幌環境維持管理協会	・各種展示会への参加により新技術情報の収集及び会員企業への情報共有
14	札幌建具工業協同組合	・金物メーカー等の新製品発表会等の出席
15	(一社)建設コンサルタンツ協会 北海道支部	・北海道開発局 新技術活用評価委員会に参画（継続） ・土現新技術ショーケースに参画（継続）
16	札幌市設計同友会	・大学等研究機関との共同研究による新技術開発（会員企業） ・学術論文の発表および学会参加を通じた最新技術情報の収集と活用（会員企業） ・業界展示会へ参加（会員企業）
17	札幌市測友会	・自動運転の社会実装における測量成果の検証についての情報収集
18	(一社)北海道設備設計事務所協会	・協会主催の技術情報発表会にて新技術、新製品等の講習会、展示会を行っている
19	(一社)北海道建築士事務所協会 札幌支部	・会員の新技術を提案する場を設け、新製品の展示、新技術の紹介により会員同士の交流を通じて情報交換を推進

新規組合事業「次代へつなぐプロジェクト」 ～新時代を担う若手が主役の業界づくりへ～

<趣旨>

管工事業界における若手技能者の不足が懸念される中、若年入職者の確保・育成や技術の円滑な継承など、将来を見据えた人づくりを行うために研修システム体制の確立を目指す。

<推進方針（3本柱）>

- ①技術継承 … 地域性を考慮した技術・技能を次世代へ伝承
- ②人材育成 … 新規就労者・若手従業員のキャリア形成（スキルアップ）を支援
- ③雇用確保 … 将来の担い手確保を目指し、業界の魅力を発信

<キャリアパス（5ヵ年計画）>

- 1年目：従業員初心者講習会の受講（新規）
- 2年目：組合主催の各種講習会の受講（既存）
- 3年目：配管工の資格取得を目指す
- 4年目：技能士（技術者）の資格取得を目指す
- 5年目：業界を担う中核的な技術者を目指す



教育体制を明確化
（5年後の姿が見える化）



<体制>

令和8年4月「次代へつなぐプロジェクト実行委員会」を設置し、「従業員初心者講習会」「雇用確保に関する講習会」の実施時期や研修内容、受講料などについて検討。今後は、「若手経営者向け講習会」などについても検討する予定。

<実施概要>

（1）従業員初心者講習会

- ・日 程 令和8年7月15日（水） ※2回目以降は毎月1回（計4日間を予定）
- ・場 所 札幌市管工事業協同組合 3階会議室及び駐車場
- ・講習内容
 - ①水道とは
 - ②図面の見方（管理図・竣工図）
 - ③サドル付分水栓の取付穿孔・配管接合（3管種）
 - ④給水装置工事の申請事務手続き
 - ⑤排水設備工事の申請事務手続き
 - ⑥水抜栓の構造・修理
 - ⑦マナー講習

（小規模企業が多く、新入社員の教育に時間を割くことが難しく、早期の退職につながるケースがあることから、「従業員初心者講習会」を活用して定着を図る。また、求職者側も企業の教育体制が整っているか、求人に応募する上で重要視している）

(2) 雇用確保に関する講習会～求人申込みアップのヒケツ～

- ・ 日 程 令和8年 7月 2日 (木)
- ・ 場 所 札幌市管工事業協同組合 3階会議室
- ・ 講習内容 ①「組合の雇用確保対策と健康経営がもたらす効果について」

内容 (予定)

- ・ 求職側から求人票について感じる事
- ・ 業界のイメージアップの必要性 (新5K)
- ・ 認知から始める採用戦略
- ・ 健康経営が注目される背景とその成果

札幌市管工事業協同組合

事業担当課長 木 田 司

②「魅力ある求人票について～選ばれる求人を作るノウハウ～」

内容 (予定)

- ・ 「入社したい」と思う記載方法
- ・ 求職者の仕事の探し方の多様化
- ・ ちょっとの見直しで魔法求人に

(株)インクルーシブ・マネジメント

代 表 降 幡 美 冬

(組合員の雇用確保の一助として、選ばれる求人票を作るノウハウについて知見を深める。また、自社の求人票をお持ちいただき、個別に降幡氏がアドバイスする)